



安心して活力に満ちた 「健康文化都市」を目指します

平成15年度
施政方針から
池田町長

町民皆様のご支援・ご協力を賜り、第四次総合計画に沿って各種事務事業が順調に進められておりますことを深く感謝申し上げます。

中核都市を目指した合併を

市町村合併問題につきましては、自治の営みを大切に、池田町の自然豊かな緑多い町を守り、地域資源を有効活用し、地域間の交流の拠点、心がやすらぎ・ゆとりの持てる地域として進められるよう、中核都市を目指し、近隣町村との連携も大切にしながら、西濃圏域の中でまちづくりができるよう、皆さまのご理解をいただく中で進めてまいります。私の理念として民意を尊重して町政を進めてまいります。

人材の育成に取り組まます

地方分権の進展により、地方公共団体の権限が大幅に拡大され、それが自治体にとってプラスに働くには、住民とともに考え、住民福祉の向上を図るため、自ら政策を企画し、実現する人材の存在に懸かっています。分権時代に対応した人材の育成に積極的に取り組み、創意に溢れた自治行政と住民自治制度の充実に向けて、分権改革と行財政改革を一体のものとして考え取り組んでまいります。

池田町の福祉と文化の整ったまちづくりを目指し、町民の皆さまとの話し合いを深めながら誠意を持って全力を挙げて取り組んでまいりますので皆さまの温かいご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。



特に全町民の願いである公共下水道終末処理場が、4月より供用開始の運びとなりました。北部処理区についても揖斐川町と協議を重ね早期に決定し、全町における下水道事業の促進と早期完成を目指してまいります。

効率的な予算配分

さて、地方には介護保険の実施など少子・高齢社会への対応をはじめ、地方分権の進展に伴い増大する行政需要への対応が求められています。しかし、長引く経済不況の中で、地方財政は極めて厳しい状況にあります。地方財政の再建は最重要課題となっており、自主的・自立的な行財政運営を確立することは、必要不可欠であり、行財政改革を進めていく必要があります。

平成15年度予算においては、安心して安全に暮らせるまちづくりを進めるため、限られた財源の中、堅実的な実行予算としました。第四次総合計画の着実な推進を最重点とし、内容を再検討しながら必要性・効果などを見極め、限られた財源を重点事業へ効率的な予算配分に努めました。下水道事業・ゴミ減量・リサイクルなどの環境づくり、30人学級の実現に向けた人づくり、福祉施設整備による福祉の拠点づくりなど、

今年度の予算規模

区 分	平成15年度予算	平成14年度予算	伸び率(減)
一般会計	72億9,400万円	75億4,220万円	3.3
特別会計	48億9,290万円	51億8,928万円	5.7
国保特別会計	16億1,300万円	14億2,000万円	13.6
老人保健特別会計	16億7,030万円	18億3,148万円	8.8
北部簡易水道事業特別会計	7,472万円	7,686万円	2.8
南部簡易水道事業特別会計	7,011万円	7,184万円	2.4
農業集落排水事業特別会計	3億1,662万円	2億6,294万円	20.4
公共下水道事業特別会計	8億8,565万円	11億6,756万円	24.1
温泉施設特別会計	2億6,250万円	3億5,860万円	26.8
予算総額	121億8,690万円	127億3,148万円	4.3
企業会計			
収益的収入	2億7,407万円	2億7,899万円	1.8
収益的支出	2億5,396万円	2億6,186万円	3.0
資本的収入	1,220万円	1,055万円	15.6
資本的支出	8,503万円	7,906万円	7.6